

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市教育振興基本計画素案 修正案
1-1	P11	重点目標2 施策4 学びの土台づくり (4)読書活動の充実	「施策4 学びの土台作り」の中に「読書活動推進のために学校図書館の充実を進めています。」とありますが、何をどのようにどのくらい充実しているのかわかりません。具体的に書く必要があると考えます。	令和元年度、文科省から学校図書館に整備すべき図書の蔵書の標準として出されている学校図書館図書標準を達成している市内小中学校は25校中21校です。また、市内小中学校に学校図書館司書(学校司書)8名を配置しています。定量的な目標については、市のHP「各部長の仕事と目標(学校教育部)」に掲載してまいります。	無	
1-2	P12	重点目標2 施策4 学びの土台づくり (4)読書活動の充実	図書を使った情報検索とインターネットを使用した情報検索の両方が学校図書館1カ所でするように整備しないと、職員の負担が増し、結局は中途半端な授業しかできないことになりかねません。今回の「基本計画」には、こういう視点が皆無です。具体的な中身も再考し、作り替える必要があると考えます。	図書館のPC環境は現在、新たに整備を始めたところです。令和元年8月に図書管理システムを最新のものにして、インターネット接続ができるようになりました。学校図書館の図書を使った情報検索とインターネットを使用した情報検索については、子どもたちの探究学習に適した学校図書館を整備しています。また、市内小中学校のICT環境の整備につきましては今後検討してまいります。	無	
1-3		その他 全般	「施策の体系」の「学校教育・就学前教育の推進」の「重点目標」の中に「図書館の充実」または「読書活動推進」を入れるべきであると考えます。最も大きな理由は、H29に「流山市子どもの読書活動推進計画」を策定し、まだ実施途中の段階であるからです。	平成29年度～平成33年度「流山市子どもの読書活動推進計画」に基づいて流山市全体で施策を推進していますので、本計画では改めて重点目標に入れることは考えていませんが、「重点目標2」「確かな学力の育成」「(4)読書活動の充実」を位置づけ推進してまいります。	無	
1-4		その他 全般	現状の各校の図書館の蔵書で、10年以上昔の本(「使えない本」である可能性が非常に高い)がどのくらいあるか調べる必要があります。	平成30年度、市内各学校図書館に、廃棄希望数のアンケートをとり、廃棄を進めるよう周知し、取り組んでいます。	無	
1-5		その他 全般	中学校の学校図書館司書の募集はなぜ無いのでしょうか。	令和元年度、学校司書は、各中学校区で配置しています。現在、市内小中学校に配置している学校図書館司書は、学校種別での採用はしていません。今後、学校図書館司書を増員し、勤務時間、勤務日数を増やすことができるよう検討してまいります。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市教育振興基本計画素案 修正案
2	P15	重点目標2 施策6 国際社会に対応した教育の推進	市が中学生～高校生を対象とした留学支援のための奨学金を設置してはどうか。国際人として活躍するためには、英語を読めたり聞けるだけでは全く不十分であり、話したり書いたりするアウトプットが不可欠だ。しかし、国内で英語を学んだだけの生徒にはこのような力は身に付きにくいだけでなく、何を喋り何を書くかという話題のネタや知識も身に付かず終わってしまう。海外の人々と実際に接しないといけない状況に身をおくことやと国際人として求められる背景知識や問題意識、ユーモアのセンスなど習得できる。この奨学金は全員を対象としなくても、留学した生徒が周りに与える影響は大きいので、選考して少人数としても大きい効果を上げられると考えられる。	義務教育期間中は、ご家庭のご事情等で国外に居住される場合を除き、国内の学校での就学義務があります。また、高校生の留学については、国などの公的機関や民間団体の奨学金が複数あることから、市においては、限られた財源の中で、独自の奨学金制度を設けるのではなく、本計画(素案)15～16頁にあるとおり、英語教員の合同研修のほか、ネイティブスピーカーの外国語指導助手(ALT)の配置により、国際社会に対応した教育の推進を図ってまいります。	無	
3-1	P7	第2節 施策の体系	不登校の問題が大きく取り上げられている。流山市にはフレンドしかないので、フリースクールを増設してほしい。	不登校児童生徒については、市教育委員会では教育支援センターフレンドステーションを設置し、相談・適応指導・集団生活を通して学校復帰や社会的自立への支援を行っています。また、市内には民間の施設「東京シューレ流山」等の民間フリースクールもあります。現在、新たにフリースクールを設置する予定はありません。	無	
3-2	P19	重点目標3 豊かな心の育成 施策8 情操教育と多様な体験活動の充実 (1)小中つながりのありキャリア教育の充実	子どもたちに社会に出て生きる力を身に付けさせるために、農業や企業とコラボした実践的な教育を実施するべきである。おおたかの森高校の農業科と連携をすることはできないだろうか。農業高校卒業生のスキルを活かすことができる教育を行うことで、農家の後継者問題が改善するのではないだろうか。	流山市ではキャリア教育の充実を図るために、企業・農園・学校・保育園・病院・図書館・老人ホーム等での職場見学・職場体験学習を推進しています。毎年、児童生徒が流山市・柏市・松戸市等に出向き、職場見学および職場体験を行っています。市内の高校の農業科は流山高等学校にあり、農業科との連携につきましては、今後検討してまいります。	無	
3-3		その他 全般	文書で「～等」でなく、「〇〇とする」「〇〇を義務」と記述すべきです。目標は「努力目標」ではなく、常に「達成目標」とすべきである。	記述につきましては、複数を列記し、その他のものも含める表記として「～等」と表現しています。また、本計画は、市民・学校・家庭・地域、行政が互いに連携・協力し施策に取り組むことを目的に掲げていることから、「達成を目指して努力する」努力目標を掲げることが妥当と考えます。	無	
3-4	P19	重点目標3 豊かな心の育成 施策7 豊かな人間関係づくりの推進	平成30年度より小学校、令和元年度より中学校にて「特別の教科 道徳」が教科化された。「特別の教科 道徳」とは別に義務教育で『論語』を用いてもらいたい。また、家庭では個人の行動・小中学校では集団の行動を学ぶことになる。その中で「ありがとうの心」「思いやりの心」を育む教育、「心友」を持てるような教育をしてほしい。	学習指導に関しましては、「学習指導要領」に示されている内容にそって指導しており、今後も同様に行ってまいります。「心友」を持てるような教育については、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童生徒の発達段階を考慮して、適切な指導を行うこととしています。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市教育振興基本計画素案 修正案
4	P24	重点目標6 特別支援教育体制の推進と充実 施策13 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	特別支援級の子供たちだけでなく、通常級に通っている子供や親たちにも心や発達などで悩みを抱えている人は大勢にいます。そういく人たちにも気軽にカウンセラーに相談できる相談室を小中学校にできれば一校に一室作って欲しいです。	現在、各学校に配置しているスクールカウンセラーは、市内全中学校と小学校3校の12校です。今後、小学校の配置数を増やし、相談しやすい環境の整備を進めたいと考えます。	無	
5-1	P24	重点目標6 特別支援教育体制の推進と充実 施策13 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	流山高等学園や支援学校までの登校が不便すぎる。高校は、自力登校である。流山にあるのに柏まで出なければ南部地区の子供たちは通えない。南部からバスを通したりしてほしい。どこに、意見をするか分からなかったので、教育委員会に提案させていただいた。	流山市教育振興基本計画は、対象範囲を「(流山市)教育委員会が実施する教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの推進に関する施策」としており、御意見にあった「流山高等学園」及び「柏特別支援学校」は千葉県施設であり当該計画の対象外となります。 なお、流山市が運行する「流山ぐりんバス」は、周辺に民間路線バス等が走っていない交通不便地区において、鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺市街地を結び、かつ利便性を重視したバスサービスとしており、特定の施設利用を目的とした運行は考えていません。	無	
5-2	P28	重点目標7地域とともに歩む明るく活力ある教育の推進 施策16 学童クラブの充実	児童全員対象の居場所づくり希望です。我孫子市は何年も前から「あびっ子クラブ」というものがあります。	流山市では、児童館、学童クラブ、夏休みの子どもの居場所づくり事業など子どもたちの居場所づくりに取り組んでいます。今後も子どもたちが安心して過ごせるように子どもの居場所づくりに取り組んでまいります。	無	
6-1	P29	重点目標8 小中一貫した教育の推進 施策17 小中連携した特色ある流山の教育の充実	小中連携したとあるが、市内の小中高校が連携して何かできたら、今までよりも豊かで大きなパワーができると思った。	流山市としては、小中高連携した取り組みの一つとして、外国語教育における連携を行っています。取り組みの一端としては、合同の研究担当者会議を行ったり、小学校において、高校生が出前授業を行うなどの実践を継続しています。今後の小中高の連携の取り組みにつきましては、地域の実情を踏まえながら、検討してまいります。	無	
6-2	P40-41	重点目標3 文化芸術の醸成と歴史の継承 施策3 文化芸術活動の促進と歴史的文化的遺産の継承	文化芸術活動の促進と歴史的文化的遺産の継承ですが、地元の知識、活動できる人材の登録等があったら便利だなと思った。	生涯学習課では、生涯学習に関する市内在住の講師を紹介した「まちの先生」をホームページに掲載しています。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市教育振興基本計画素案 修正案
7		その他 全般	流山市教育振興基本計画は、どの重点目標においても現状と課題を詳しく明記されており、教育への熱心な取り組みを感じられます。職員の方々が提案して下さった基本計画案を様々な面で生かし、流山市教育をみらいあるものにしていただきたい。また、保護者の方々にも周知するため、もう少し簡潔にわかりやすいものがあれば保護者が興味をもつのではないかと。	流山市教育基本計画を広く周知するために、簡潔でわかりやすい資料は必要と考えます。計画が策定されましたら、保護者向けの概要版を作成するなど周知に努めてまいります。	無	
8	P23	重点目標5 命と健康を大切にす教育の推進 施策12 安全教育的の推進	防災・防犯教育については、命にかかわることであり、日頃の訓練や知識の与え方で命運が変わると思うので、ぜひ今まで以上に教育を推進してほしい。	児童生徒が巻き込まれる事件や事故、自然災害の発生を受け、学校における防犯教育や防災教育は一層の充実が求められています。自ら危険を予測し、回避することができる児童生徒の育成や、自分の命は自分で守る「自助」はもちろんのこと、協力しながら助け合う「共助」の担い手になれるよう流山市では今後も「防犯教育」「防災教育」を推進してまいります。	無	
9-1	P6	基本計画の基本理念	基本計画の基本理念である「学びに向かう力と自立する子どもを育む」大変すばらしいと思います。「生きる力」「自信」「誇り」様々なことに挑戦でき、未来に活躍できる子どもが育つように是非、これらの流山の教育を推進していただきたい。	基本理念の「学びに向かう力と自立する子どもを育む」の目標の具現化のために10の重点目標と21の施策を定め、これからの社会を担う子供たちのために学校・家庭・地域、そして行政が互いに連携・協力し流山市の教育を推進してまいります。	無	
9-2	P30	重点目標9 教職員の負担軽減 施策18 教職員の負担軽減	教職員の方々の負担を是非軽減してほしい。教職員の一人一人が仕事と家庭のバランスを図り、心身ともに健康であることが子供たちにも大きく影響すると思います。	教職員の負担軽減に向け、校務支援システムや留守番電話の設置などの校務の効率化、学校給食費の公会計など徴収事務の削減、部活動外部指導員の活用を行っています。今後さらに市内小中学校における様々なトラブルについてスクールロイヤーからの法的側面からの支援、指導等を受けながら進めていきます。校務の積極的な見直しをすることで、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、一人ひとりにきめ細かな指導の充実を図ります。	無	
10	P27	重点目標7 地域とともに歩む明るく活力ある教育の推進 施策15 地域に開かれた学校づくりの推進・地域による協働の取り組み	今年になり目にする機会が増えた地域コーディネーター、ボランティア活動は教育支援活動としてとてもありがたいです。子供たちの安全面、保護者が学校に少しでも多く関わっていけるよう地域学校協働本部の活動を広げてほしい。	今後も、地域学校協働本部の活動を多くの方々に周知及び参加できるよう、地域学校協働本部便りを中心に、広報活動を強化し、活動を推進してまいります。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市教育振興基本計画素案 修正案
11-1	P21	重点目標4 健やかな体の育成 施策10 運動・スポーツ活動の充実	外部機関の活用、外部指導員制度の導入に関しては、安心・安全に部活に取り組み、技術の向上を図るうえで是非進めていただきたい施策です。また、教師の負担軽減という意味でも迅速に対応していただきたい。	試行として、令和元年度より市内中学校2校に外部指導員を配置しております。今年度の成果、実績を検証し、今後も部活動のさらなる活性化と教職員の業務改善を目指し推進してまいります。	無	
11-2	P27	重点目標7 地域とともに歩む明るく活力ある教育の推進 施策15 地域に開かれた学校づくりの推進・地域による協働の取り組み	地域学校協働本部の設置に関しては、現在のPTA活動をそちらに移行していただきたい。特に市PTA連絡協議会の事務局の担当輪番制は、共働きが増えている現状、保護者にとっては多大な負担となっており、また、負担を極める教育現場においても先生方の負担を増やすものとなっている。早急に改善してほしい。	地域学校協働本部の活動とPTAの活動とは目的が異なりますので、移行する考えはございませんが、PTA活動の中で、地域の協力が必要な場合は、学校支援コーディネーターを中心に学校サポートボランティアを派遣することは可能です。また、今後市PTA連絡協議会の事務局の負担軽減策について検討してまいります。	無	
12-1	P35-37	重点目標1 生涯学習の推進 施策1 人生を豊かにできる生涯学習の推進	現在、日本で暮らしている外国人が増加しています。流山市内でも様々な国の方々を見かけます。来年に東京オリンピック控え、今後さらに多くの外国人が来日し、市内に住む方も増加すると思います。現在、流山市内の公民館などで外国人と地域住民が気軽に触れ合える場はありますか。公民館などで、外国の方々や地域住民が触れ合う場があれば、日常の困りごとや悩みなどを相談することができ、暮らしやすくなると思います。また、地域住民にとっても、人の役に立つことで活力が生まれるのではないかと思います。言葉の問題がありますが、翻訳機を設置するなどの対応でコミュニケーションが取れると思います。	公民館では、流山市国際交流協会との協働で「日本語講座」を実施しています。日本語が話せないことから地域とのコミュニケーションが取れない市内在住の外国人を対象に、マンツーマンによる日本語指導を行い、日本の文化・慣習に溶け込んでいただけるようにと通年(水曜日)に実施しています。また、年に1度、集い、学び、交流できる中央公民館まつりを実施し、英語や異文化を体験できるコーナーなどを設け、外国人と触れ合う機会を提供しています。	無	
12-2	P35-37	重点目標1 生涯学習の推進 施策1 人生を豊かにできる生涯学習の推進	その他に、図書館に英語の本を増やすなど外国人にとっても、優しい町づくりができることを希望します。	令和元年10月1日現在、市立図書館(全6館)で所蔵している洋書の蔵書数は927冊です。外国人を含む市民の多様な読書要求に応えられるよう、図書館が所蔵すべき資料の充実に努めます。	無	
13	P35-37	重点目標1 生涯学習の推進 施策1 人生を豊かにできる生涯学習の推進	パワーアップするシニア世代に向けた活動の場の選択肢を広げる。現在のゆうゆう大学東部地区のような交通の便の悪さからその学習の場はリピーターが固定化されている。意欲的なリピーター達への対応、情報弱者にあるシニア達へ自発的にアクションを起こせるような基盤づくり等。	公民館では、65歳以上の高齢者を対象とした「ゆうゆう大学」を市内6会場で実施しています。生徒募集にあたっては、初めて受講される方を優先しており、リピーターが必ず入学できるとは限りません。ゆうゆう大学のOBの中には、サークル活動等を自主的に実施している方も見受けられます。ゆうゆう大学のカリキュラムの中でボランティア活動や地域活動の紹介や案内などを行い、活動への参加を促進してまいります。	無	